

生活困窮世帯への積極的な公営住宅の家賃減を



前川原 正人 議員
動画視聴

問 公営住宅の家賃減免は、生活困窮者を救済する制度である。児童手当などの受給者世帯は、手当てが収入認定されて、子ども育成の支援策が、住宅確保に使われることになる。各種手当を含まない、所得のみの算出に改善すべきではないか。

答 公営住宅法施行令で規定する所得金額に、児童手当などや給付金等のすべての収入額から控除対象額を引いて住宅使用料を算出している。公営住宅の公平性から、これまでのやり方を続けたい。

「見える化」できめ細かな介護保険の支援を

問 本年度から、第7期介護事業計画が策定された。埼玉県和光市では、地域包括ケア実現のために「どの圏域に、どのようなニーズを持った高齢者が、どう生活しているのか」を調査し、事業計画に反映している。課題の「見える化」で、ポイントの対策ができると思うがどうか。

答 市内の介護事業所の介護福祉士など専門職の一部の方をライフサポートワーカーと認定して、この方々を対象にアンケート調査及び意見交換会などを実施し、高齢者の生活実態を事業計画に反映している。個人が抱える課題解決に向けた支援体制を構築していく。

その他の質問
・臨時職員の処遇改善について
・道路整備について

部活動の充実で健全育成を



川窪 幸治 議員
動画視聴

問 中学校学習指導要領で、部活動は学校教育の一環とされているが、どのように考えられているのか。

答 知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を子どもたちに育むことを目指し、教育委員会でも教育的意義は大きいものと捉えており、各学校に適切な指導及び運営の下で活動の充実を奨励している。

問 指導者・顧問と生徒の関係性と学校顧問についてどのように考えられているのか。

答 本年3月に「運動部活動の在り方に関する総

合的なガイドライン」がスポーツ庁から示され、学校全体で運動部活動の指導・運営にかかる体制を構築すること、職員数も限られていることから、生涯にわたって学び続けることの大切さなどを確認することで理解を求め、分担を決めているところである。

問 全国的にいわれる外部指導者を本市では、どのような位置付けで考えているのか。

答 生徒の活動をより充実させ、顧問の指導技術の向上及び心身の負担軽減を図るために、専門的な知識や技能を有する外部指導者と顧問が連携した指導体制の更なる充実が必要と考えている。教育行政に果たす責任や役割を明確にし、部活動を行う環境整備等、教育に関わる施策の充実は今後も努めていきたい。

霧島地区における環境整備を



木野田 誠 議員
動画視聴

問 霧島公民館は耐震診断の結果、基準を満たしていないと判断された。今後、どのように計画するのか。

答 現在の公民館の耐震改修等の経費と、総合支所に公民館機能を移転した場合の改修費用を比較、検討し、地元の皆様の利便性も考慮しながら、公共施設マネジメント計画推進本部等での協議を踏まえ方向性を示したい。

問 霧島神宮駅周辺で、外国人を中心とした観光客が迷っている。観光案内所の設置や駅周辺の案内看板、チラシ作成等の交通アクセスへの案内を

含め受入体制の充実を図るべきではないか。

答 観光客が抱える不安や問題を解消できるよう、地元の方々や関係機関と連携し対応していきたい。

問 霧島地区に、子ども達が遊べる公園を整備できないか。

答 公園整備を求める要望は聞いている。今後、利用者や地元の意見を伺いながら検討していく。

問 高千穂河原に火山ガス自動検知器の設置が必要ではないか。

答 高千穂河原への自動検知器設置に向けて検討していく。

問 県道60号線の整備拡幅はどうか。

答 柕田から国分方面へ約900mの区間の事業着手が決定した。

FMきりしま難聴地域の整備を急ぐべき



愛甲 信雄 議員
動画視聴

問 遊び場の環境について、市民約300名に実施したアンケートによると、公園以外ではほとんど遊び場がなく、多様な経験ができない状況である。公園や遊具などのあり方を見直すべきではないか。

答 緑の基本計画や、公園長寿命化計画によって管理している。公園の遊具で遊ぶことは、子どもたちの成長を促す上でも重要であると考えている。今後も利用者や地元の見解を十分踏まえて整備を進めたい。

制の緩和を本社とともに、国に陳情する予定である。

丸岡公園の今後の具体的な構想はあるのか

問 今年、開園50周年を迎えた丸岡公園を、グラウンドゴルフの聖地として、霧島市内の温泉・宿泊施設等とタイアップした取組や長いゴーカートコースをPRするなど、集客増大を図れないか。

答 来年のグラウンドゴルフ九州大会や再来年の国体の会場となるため、今年度、駐車場や側溝の整備をする。高速道路ICに近く、鹿児島市や熊本、宮崎からのアクセスが良好な立地を活かし、交流人口拡大や地域活性化を図っていきたい。

その他の質問
・JR肥薩線の減便について

ロタウイルス胃腸炎から子どもの健康を守るべき



鈴木 てるみ 議員
動画視聴

問 ロタウイルスワクチン接種の助成事業は、子どもの健康を守るだけでなく、医療費削減、子育て支援、女性の活躍施策等と合致する。本市でも開始してはどうか。

答 国の定期接種化を待たず、任意接種への公費助成を行っている自治体が増加傾向にある。本市でも、多くの子どもが個人負担により予防接種を受けている。このような状況を踏まえ、安心して子どもを産み育てること

ができる体制を構築し、母子に対する保健・医療施策の充実にも努めるため、本市でも公費助成の実施に向けて検討していく。

問 具体的にはいつからと考えているか。

答 来年度からの実施に向けて検討したい。

国保情報の発信に有効な広報誌の発行を

問 高齢化時代に入り、国保事業を安定化していくには、市民の理解と協力が不可欠と考える。イラストを多く用いた霧島市版「国保だより」を発行してはどうか。

答 これまで国保情報は、「広報きりしま」やホームページ等、さまざまな方法で周知してきました。これからも、引き続き情報発信に努めます。

問 本市の子どものための基礎体力の状況はどうか。文科省では6歳までの「遊び」が、一生を左右するとして、幼児期運動指針を示している。この活用状況はどうか。



山口 仁美 議員
動画視聴

問 遊び場の環境について、市民約300名に実施したアンケートによると、公園以外ではほとんど遊び場がなく、多様な経験ができない状況である。公園や遊具などのあり方を見直すべきではないか。

答 緑の基本計画や、公園長寿命化計画によって管理している。公園の遊具で遊ぶことは、子どもたちの成長を促す上でも重要であると考えている。今後も利用者や地元の見解を十分踏まえて整備を進めたい。



問 本市も出資しているFMきりしまの電波送信所は、国分城山公園の1局だけで、市全域をカバーできていない。中継局の設置により、難聴域を解消する方法もあるが、資金の問題により実現が難しい。空中線電力20W以下とする現行の規

